

土砂防だより



新年度の御挨拶	2
令和8年度の行事予定	3
・がけ崩れ防災週間 ・土砂災害防止月間	
令和8年度 砂防関係当初予算	4
令和8年度 政府予算案閣議決定	6
土砂災害に関する新たな防災気象情報	7
あなたのまちの安全度	8
「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰	10
わがまち(磐田市)	13
歴史探訪 海岸砂防	13
インフォメーション	14
お知らせ	16

速報 令和8年度 砂防関係当初予算

特集 あなたのまちの安全度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰



新年度の御挨拶

陽春の候、会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

4月1日付けで静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課長を拝命しました西川 茂です。このたび、全国治水砂防協会静岡県支部の常任幹事に就任いたしました。どうぞよろしく申し上げます。

昨年は、8月に相次いで発生した線状降水帯による集中豪雨や台風第12号等により、九州地方や北陸地方を中心に全国で578件の土砂災害が発生し、死者2名、家屋損壊(全壊・半壊・一部損壊)236戸の被害が生じました。本県においても、9月に県内を襲った台風第15号を中心に28件の土砂災害が発生し、住宅半壊3戸、一部損壊5戸の被害がありましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。

県では、激甚化・頻発化する土砂災害から県民の「いのち」と「くらし」と「なりわい」を守るため、砂防堰堤や擁壁等の防止施設の整備を推進しております。これらの防止施設が土砂をくい止め被害を軽減した効果事例は、令和6年の18件に続いて昨年も7件あり、2年連続で「土砂災害による死者ゼロ」を達成しています。

ソフト対策としては、教育委員会と連携し、土砂災害警戒区域内に立地する小中学校(134校)に対して、避難訓練の実施を呼びかけるとともに出前講座に赴く防災教育の支援を強化しています。また、土砂災害のおそれのある地域の皆様に、「日頃の備え」や「早めの避難」の重要性を認識していただくため、新たに完成した防止施設の「砂防カード」を作成し、完成見学会等を通じて関係する地域の皆様に配布しています。

県では、新たに策定された「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき、令和7年度補正予算とともに、令和8年度当初予算の速やかな執行に努め、防止施設の整備を加速化するとともに、令和6年3月に公表した9,047箇所土砂災害警戒区域の候補箇所の基礎調査を推進し、順次区域の指定を進めてまいります。

また、本年5月から土砂災害に関する防災気象情報が改正されるため、「早めの避難」について市町と連携して県民への周知に努めるとともに、改正後も市町が万全の体制で警戒避難をとることができるよう強力に支援してまいります。

いずれの施策につきましても、会員の皆様との協調と連携により初めて成果をなすものであります。会員の皆様方には、より一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

令和8年4月1日

全国治水砂防協会静岡県支部 常任幹事

西川 茂

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL 054-221-3044
FAX 054-221-3564

砂防課長

西川 茂

☎3382

課長代理

松村 昌広 ☎3382

- ・課長の代理
- ・砂防協会、砂防ボランティア事務

砂防班

主査 山崎 悠平 ・土砂災害防止法に関すること ・基礎調査 ・防災教育	マイクロー 342	班長 久木田 真次 ・砂防班の総括 ・直轄砂防事業の調整
主任 村井 達郎 ・県単砂防事業 ・災害関連緊急砂防事業 ・砂防指定地の指定 ・土砂・洪水氾濫	☎3041	主査 内山 翔太 ・補助・交付金砂防事業 ・砂防技術基準
技師 高井 悠任 ・情報基盤整備事業 ・土砂災害防止の広報・啓発 ・演習場周辺地区障害防止事業 ・県単砂防事業(維持)	土砂災害 110番 ☎3044	主任 武藤 真 ・警戒避難体制整備の促進 ・地すべり事業(国交) ・災害緊急地すべり事業(国交) ・砂防指定地内行為許可

傾斜地保全班

班長 渥美 晃岳 ・傾斜地保全班の総括 ・直轄地すべり事業の調整	マイクロー 341	主査 平山 賢次 ・地すべり事業(林野) ・災害緊急地すべり事業(林野) ・県単急傾斜地事業 ・採石法等の技術審査
主査 鈴木 隆明 ・補助・交付金急傾斜地事業 ・災害緊急急傾斜地事業 ・急傾斜地崩壊対策の技術基準	☎3043	主任 稲森 花保 ・地すべり事業(農地) ・災害緊急地すべり事業(農地) ・県単急傾斜地事業(維持) ・急傾斜地崩壊危険区域の指定
会計年度任用職員 千葉 裕子 ・砂防課内の事務補助	土砂災害 110番 ☎3042	砂防協会 吉澤 舞里子 ・砂防協会の事務・経理

※指定地管理及び砂利・砕石関係事務等は、河川砂防管理課 ☎3028 (課長)後藤 祐介
「河川砂防管理課」で担当します。 | 河川砂防管理班 ☎3034 (班長)伊藤 達也 (主任)福地 伸泰 (主事)平野 悠

※水防に関する事、交通基盤部内の防災対策の総合調整及び災害復旧事業の総括に関する事については、土木防災課 ☎3033
「土木防災課」で担当します。

【令和8年度の行事予定】

月	日	時刻	会 場	会場等
4月	14日(火)	11:00	全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	静岡市内
5月	21日(木)	14:00	全国治水砂防協会静岡県支部役員会	静岡市内
//	21日(木)	15:00	全国治水砂防協会静岡県支部令和8年度(第81回)通常総会	静岡市内
//	28日(木)	11:00	(一社)全国治水砂防協会令和8年度(第90回)通常総会	砂防会館(東京都)
6月	1日(月)~7日(日)		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
//	1日(月)~30日(火)		土砂災害防止月間	静岡県内各地
//	1日(月)~4日(木)		「土砂災害防止月間」街頭キャンペーン	JR静岡駅(1日)、 浜松駅(3日)、沼津駅(4日)
//	2日(火)		「土砂災害防止月間」キャンペーンバス出発式	バス営業所
//	5日(金)、12日(金)		市町等砂防担当職員研修(防災演習)	静岡県庁、下田総合庁舎
//	7日(日)		土砂災害・全国防災訓練	静岡県内各地
//	20日(土)		みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)	青葉シンボルロード(静岡市)
8月	27日(木)~29日(土)		市町長等砂防関係事業県外視察	三重県内、和歌山県内(予定)
10月	26日(月)~27日(火)		(一社)全国治水砂防協会 令和8年度砂防現地視察と討論会	静岡県内(予定)
11月	12日(木)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
//	中 旬		東海地区砂防協会支部長・砂防課長合同会議	岐阜県
//	下 旬		市町等砂防担当職員研修(現場研修)	検討中
2月	中 旬		第67回砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※太字の行事について、会員(市長町)の積極的な御参加をお願い申し上げます。

がけ崩れ防災週間 土砂災害防止月間

6月1日(月)~7日(日)

6月1日(月)~30日(火)

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、台風や集中豪雨などが原因となって発生します。梅雨時は雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は激甚化・頻発化する豪雨等による被害が増えていますので、雨が降りだしたら防災・気象情報などに注意して、早めの避難を心がけましょう。

毎年、梅雨入りを迎える6月を「土砂災害防止月間」として、県民の皆様にと土砂災害防止について理解と関心を深めていただくため、国、県、市町などの関係機関が連携し、防災訓練や講習会、急傾斜地パトロールなどを実施します。

行事予定

- 6月1日(月)~30日(火) 急傾斜地パトロール(重点実施)
- 6月1日(月)~4日(木) 「土砂災害防止月間」街頭キャンペーン
- 6月2日(火) 「土砂災害防止月間」キャンペーンバス出発式
- 6月7日(日) 土砂災害・全国防災訓練
- 6月20日(土) みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の開催(青葉シンボルロード)
- 6月1日(月)~9月15日(火) 「土砂災害防止に関する絵画・作文」の作品募集



令和7年度 土砂災害・全国防災訓練

速報

令和8年度

砂防関係当初予算 103億800万円余

令和8年度当初予算が令和8年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆4,141億円で、前年度に比べ418億円の増、対前年度比103.0%となりました。

砂防関係事業の予算は、幸福度日本一の実現に向けた防災・減災・国土強靱化の推進のため、予算総額約103億879万円、前年度より4億8,564万円の増、対前年度比104.9%となりました。

主な内訳は次のとおりです。

1 一般公共事業

52億6,000万円(対前年比1.27)

国の「責任ある積極財政」に呼応し、防災・減災・国土強靱化を推進するため、砂防堰堤等の防止施設の整備とともに、9,047箇所土砂災害警戒区域の候補箇所の基礎調査や区域指定を進め、危険な箇所の周知や市町の警戒避難体制の整備を促進するソフト対策に取り組みます。

2 県単独事業

28億2,500万円(対前年比0.82)

砂防堰堤の除石を実施する国土強靱化対策事業や、緊急に防止施設を整備する緊急豪雨災害対策強化事業と緊急自然災害防止対策事業の予算を確保し、国庫補助事業や交付金事業に採択されない箇所の防止施設の整備や調査等を実施します。

3 国直轄事業費負担金

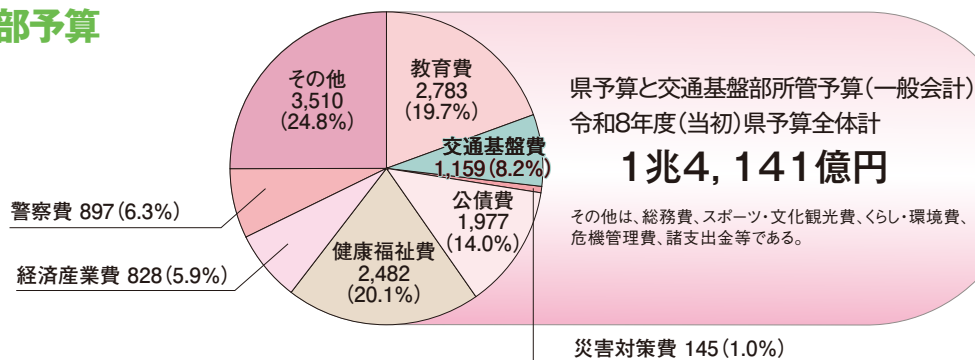
22億2,300万円(対前年比1.01)

富士山、安倍川、狩野川において国土交通省が行う直轄砂防事業及び由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

静岡県の砂防関係予算

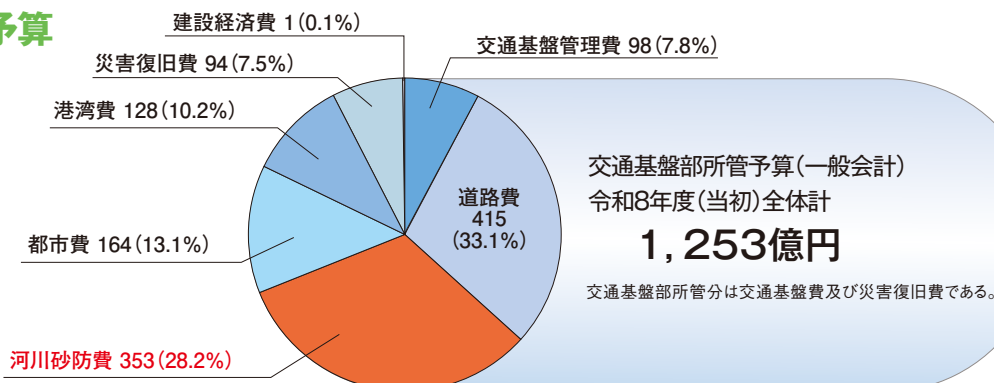
● 県予算と交通基盤部予算

令和8年度(当初)



● 交通基盤部所管予算

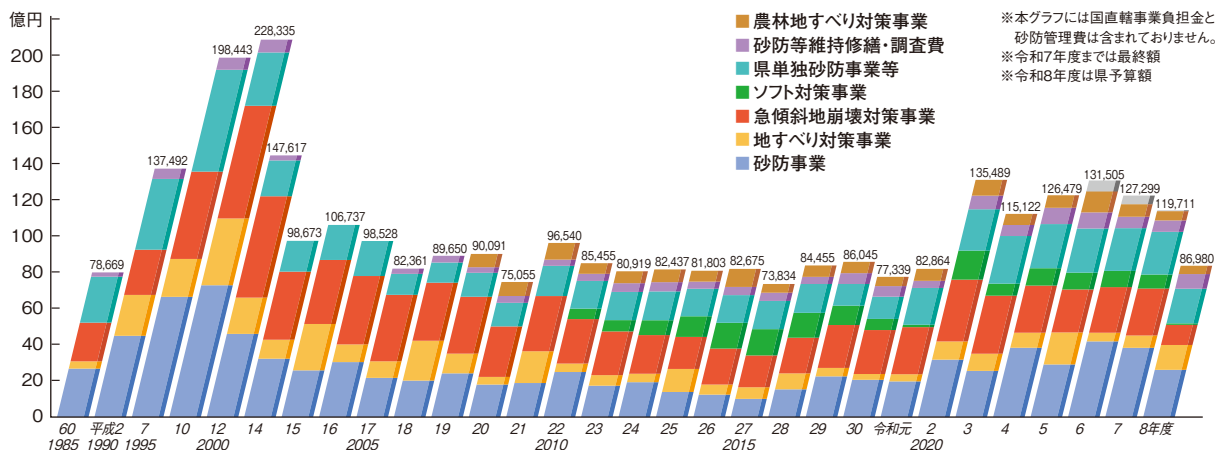
令和8年度(当初)



令和8年度 砂防関係事業等予算額調書

事業名	令和8年度		令和7年度		A/B	A/C	
	当初 A	最終 C	当初 B	最終 C			
★砂防管理費 (第1目) 計	795	2,148	2,148	2,146	37.0	37.0	
一般公共事業	国庫補助	通常砂防事業	524,550	336,000	672,000	156.1	78.1
		火山砂防事業	94,500	17,400	137,550	543.1	68.7
		砂防事業 計	619,050	353,400	809,550	175.2	76.5
		地すべり対策	94,500	74,550	121,800	126.8	77.6
		急傾斜地崩壊対策	142,800	237,300	376,950	60.2	37.9
		砂防メンテナンス(砂防)	439,950	255,150	682,500	172.4	64.5
		砂防メンテナンス(地すべり)	84,000	30,450	139,650	275.9	60.2
		砂防メンテナンス(急傾斜)	14,700	24,150	14,700	60.9	100.0
		通常国庫補助事業 計	1,395,000	975,000	2,145,150	143.1	65.0
		通常砂防事業	537,600	586,850	1,357,560	91.6	39.6
		火山砂防事業	241,500	129,150	323,925	187.0	74.6
		火山噴火緊急減災対策	28,350	15,750	10,500	180.0	270.0
	砂防事業 計	807,450	731,750	1,691,985	110.3	47.7	
	地すべり対策事業 計	105,000	54,600	263,550	192.3	39.8	
	急傾斜地崩壊対策事業 計	1,037,350	443,100	2,302,965	234.1	45.0	
	防災・安全交付金	土砂・洪水氾濫対策	6,300	8,400	19,950	皆減	皆減
		情報基盤緊急整備	6,300	42,000	80,640	15.0	7.8
		盛土緊急対策	18,900	3,150	1,108,800	600.0	1.7
		基礎調査	25,200	63,550	1,219,390	39.7	2.1
		総合流域防災事業 計	19,750,000	1,293,000	5,480,540	152.7	36.0
		効果促進事業(ソフト)	75,000	63,000	86,790	119.0	86.4
		防災・安全交付金 計	1,975,000	1,293,000	5,480,540	152.7	36.0
		東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	75,000	63,000	86,790	119.0	86.4
	県単独事業	特定緊急砂防	—	—	—	—	—
		特定緊急地すべり	—	—	—	—	—
		災害関連緊急砂防	362,000	362,000	—	100.0	皆増
		災害関連緊急地すべり対策	1,280,000	1,280,000	—	100.0	皆増
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策		173,000	173,000	—	100.0	皆増	
地域かけ崩れ崩壊対策事業費		—	—	25,000	—	皆減	
災害関連緊急事業 計		1,815,000	1,815,000	25,000	100.0	7260.0	
一般公共事業 計		5,260,000	4,146,000	7,737,480	126.9	68.0	
生活環境整備		通常砂防	180,000	180,000	188,000	100.0	95.7
		地すべり対策	65,000	65,000	10,000	100.0	650.0
		急傾斜地崩壊対策	123,000	223,000	92,000	55.2	133.7
		砂防等維持修繕	593,000	493,000	624,404	120.3	95.0
		砂防等調査	293,000	293,000	239,930	100.0	122.1
		砂防等台帳整備	11,000	11,000	11,000	100.0	100.0
		生活環境整備事業 計	1,265,000	1,265,000	1,165,334	100.0	108.6
	施設整備	100,000	112,000	196,294	89.3	50.9	
	指定促進対策	20,000	8,000	23,372	250.0	85.6	
	急傾斜地崩壊対策事業費補助	120,000	120,000	219,666	100.0	54.6	
	砂防県単事業 計	1,385,000	1,385,000	1,385,000	100.0	100.0	
	緊急豪雨災害	砂防	231,000	430,000	427,000	53.7	54.1
		地すべり	95,500	80,000	80,000	119.4	119.4
		(国交省)	30,000	15,000	15,000	200.0	200.0
		(治山)	60,500	15,000	15,000	403.3	403.3
(農地)		5,000	50,000	50,000	10.0	10.0	
急傾斜地崩壊対策		343,500	390,000	393,000	88.1	87.4	
緊急豪雨災害対策強化事業		670,000	900,000	900,000	74.4	74.4	
砂防		219,000	428,000	438,000	51.2	50.0	
急傾斜地崩壊対策		201,000	252,000	242,000	79.8	83.1	
緊急自然災害防止対策事業		420,000	680,000	680,000	61.8	61.8	
県土強靱化対策事業		350,000	500,000	500,000	70.0	70.0	
砂防		980,000	1,538,000	1,553,000	63.7	63.1	
地すべり対策		160,500	145,000	90,000	110.7	178.3	
急傾斜地崩壊対策		787,500	985,000	946,666	79.9	83.2	
その他(維持修繕・調査)		897,000	797,000	875,334	112.5	102.5	
県単独事業 計	2,825,000	3,465,000	3,465,000	81.5	81.5		
砂防費 (第4目) 計	8,085,000	7,611,000	11,202,480	106.2	72.2		
一般公共	農地地すべり	201,000	189,000	225,875	106.3	89.0	
	農地地すべり(災害関連分)	23,000	23,000	—	100.0	皆増	
	治山地すべり	187,000	176,000	405,815	106.3	46.1	
	治山地すべり(災害関連分)	65,000	65,000	—	100.0	皆増	
	農林地すべり一般公共事業 計	476,000	453,000	631,690	105.1	75.4	
県単独	県単農地地すべり	63,000	63,000	63,000	100.0	100.0	
	県単治山地すべり	74,000	74,000	74,000	100.0	100.0	
	生活環境整備事業 計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0	
	農林地すべり県単事業 計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0	
	農地地すべり	264,000	252,000	288,875	104.8	91.4	
治山地すべり	261,000	250,000	479,815	104.4	54.4		
災害関連分	88,000	88,000	—	100.0	皆増		
○農林地すべり対策費 (第5目) 計	613,000	590,000	768,690	103.9	79.7		
★国直轄事業費負担金 (第6目) 計	2,223,000	2,210,000	2,922,764	100.6	76.1		
合計	10,921,795	10,413,148	14,896,080	104.9	73.3		
合計から○を除く	9,823,795	9,823,148	14,127,390	104.9	73.0		
合計から★を除く	8,698,000	8,201,000	11,971,170	106.1	72.7		

砂防関係事業費の推移



令和8年度 政府予算案閣議決定

令和7年12月26日(金)、令和8年度政府予算案が閣議決定されました。国土交通省の行政経費等を含む予算額は、国費ベースで対前年度比1.02倍の6兆749億円となりました。砂防関係予算は対前年度比1.01倍の1,436億円、防災安全交付金は対前年度比1.01倍の8,529億円となり、防災・減災・国土強靱化の取組の更なる加速化・深化を図ってまいります。

予算のポイントの内、砂防関係事業に関するものを示します。

国土交通省関係予算国費

単位：億円

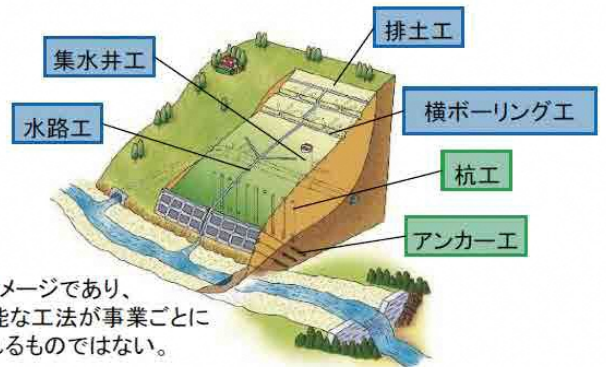
事 項	令和8年度 (A)	令和7年度 (B)	対前年度倍率 (A/B)
水管理・国土保全局関係予算	10,670	10,402	1.03
治水事業等関係費	8,818	8,770	1.01
河川関係	7,211	7,178	1.00
砂防関係	1,436	1,422	1.01
海岸関係	171	170	1.01
下水道事業関係費	1,852	1,632	1.13
社会資本総合整備	13,126	13,344	0.98
うち防災・安全交付金	8,529	8,470	1.01
その他(道路・港湾等)	1,265	35,782	0.04
合 計	60,749	59,528	1.02

砂防関係事業の新規制度等

(国土交通省砂防部資料より抜粋)

○「特定緊急地すべり対策事業」の 事業対象範囲を拡大

地すべり災害が発生した斜面内における一連の対策工事を災害関連緊急事業後も集中的に実施できるよう、特定緊急地すべり事業の採択要件から「隣接する上部斜面」の限定を解除し、事業対象範囲を拡大する。



※上記はイメージであり、実施可能な工法が事業ごとに限定されるものではない。

＜地すべり災害に対する対策工法のイメージ＞

○砂防関係施設の予防保全型インフラ メンテナンス実現への支援強化

デジタル技術を活用したメンテナンス体制を確保するため、目視とUAVによる点検を組み合わせた安全で効率的な施設点検や自動点検導入等に伴う長寿命化計画の変更を令和8年度以降も支援する。

デジタル技術を活用したメンテナンス体制の確保

従来

- ・砂防関係施設は狭隘な山間部に位置しているため、他のインフラ施設と比べて、点検には危険が伴い、多くの時間と労力を要する。
- ・デジタル技術の活用により、安全かつ持続的なメンテナンス体制を確保し、損傷が軽微な段階で修繕等を実施する、「予防保全型メンテナンス」へ転換し、ライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。

■アクセスの悪い山間部における人力による目視点検

新規事項

目視とUAVによる点検を組み合わせた安全で効率的な施設点検や自動点検導入等に伴う長寿命化計画の変更を令和8年度以降も支援。

UAVの目視外自律飛行による点検

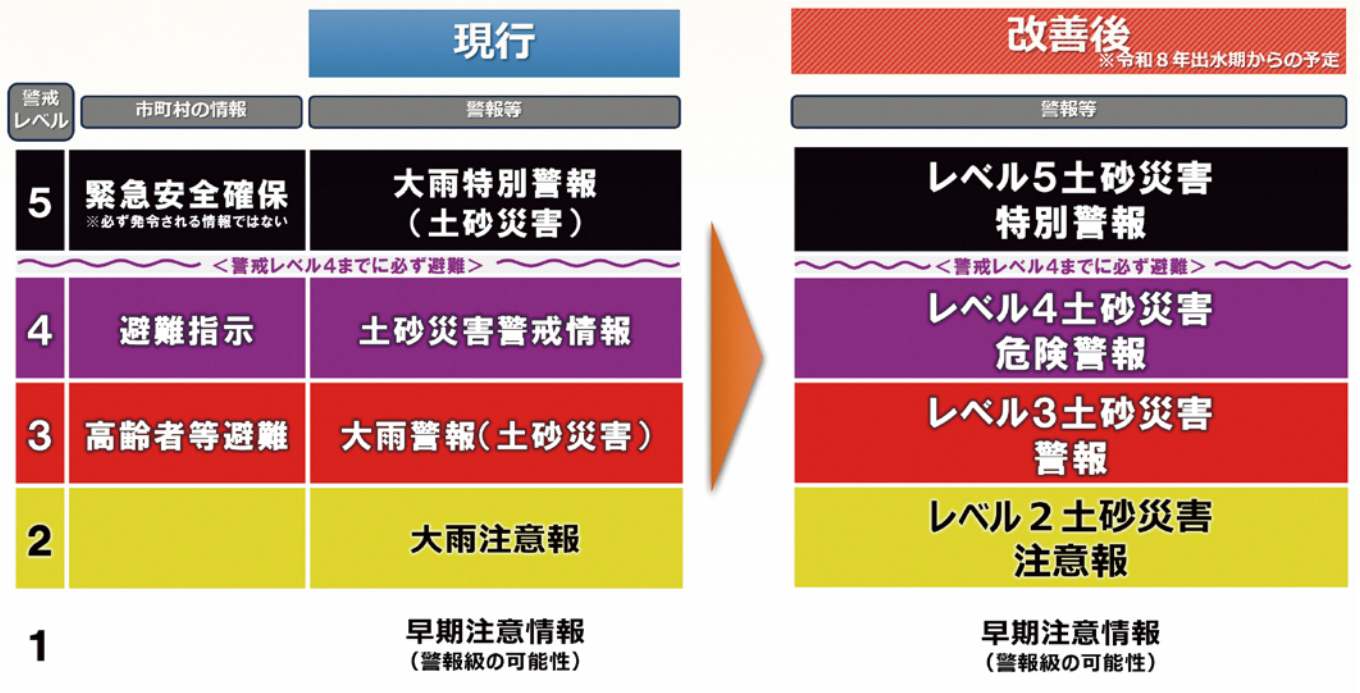
砂防施設点検のUAV自律飛行ルート(イメージ)

■UAV等のデジタル技術を活用した施設点検技術の導入を推進。

土砂災害に関する新たな防災気象情報

令和6年6月にとりまとめられた「防災気象情報に関する検討会」の提言を踏まえ、令和8年5月下旬から、受け手の立場に立ったシンプルでわかりやすい、新たな防災気象情報の運用が開始されます。

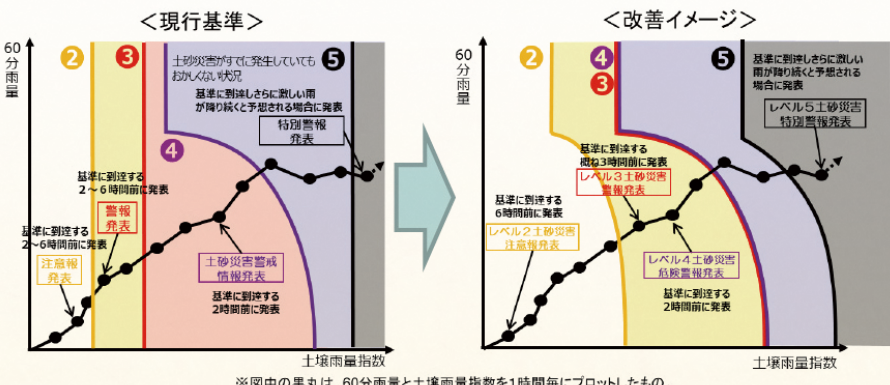
今回の見直しにより、河川氾濫や土砂災害に関する情報等が「避難情報の5段階の警戒レベル」に対応するため、これまでよりも住民の皆様の「早めの避難」につながることを期待されます。



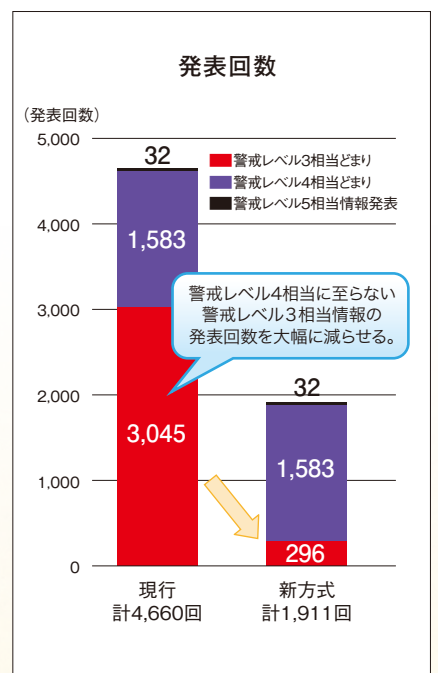
土砂災害に関する情報の運用変更について

土砂災害に関する情報は、これまで県と静岡地方気象台が共同で発表作業を行っていた「土砂災害警戒情報」から、上記のとおり気象台が単独で「レベル4土砂災害危険警報」として発表します。

また、今回の防災気象情報名称の変更にあわせて、「レベル2土砂災害注意報」等の発表基準も変更されます。この発表基準の変更により、「レベル3土砂災害警報」の発表精度が向上します。



土砂災害に関する情報の発表基準



令和3年の気象データに基づく警戒レベル3相当情報の発表回数の比較

あなたのまちの安全度

県では、令和元年度までに指定が完了した18,215箇所[※]の土砂災害警戒区域等を対象に、土砂災害防止施設の整備や地形改良、令和5年度までに航空レーザ測量による高精度な地形情報を活用し、新たに9,047箇所[※]の土砂災害警戒区域の候補箇所指定を進めています。

引き続き、土砂災害から県民の生命・財産を守るため、砂防堰堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備とともに、住民への土砂警戒情報の発表などのソフト対策を合わせた、総合的な土砂災害対策を進めています。

市町別土砂災害警戒区域等の指定状況

(令和8年3月31日 現在)

所管土木	市町名	土砂災害警戒区域指定状況				土砂災害特別警戒区域指定状況				警戒区域 ハザード マップ
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計	
下田	下田市	262		349	611	189		331	32,182	602
	東伊豆町	31	6	67	104	19		66	85	104
	河津町	105	6	130	241	72		130	202	241
	南伊豆町	304	1	285	590	229		266	495	590
	松崎町	104	1	145	250	70		61	131	249
	西伊豆町	100	1	149	250	54		120	174	250
	小計	906	15	1,125	2,046	633		974	1,607	2,036
熱海	熱海市	105	1	195	301	59		194	253	301
	伊東市	107	2	259	368	72		256	328	368
	小計	212	3	454	669	131		450	581	669
沼津	沼津市	124		256	380	61		250	311	380
	三島市	22		97	119	15		89	104	119
	御殿場市	30		21	51	19		20	39	51
	裾野市	52		60	112	44		57	101	112
	伊豆市	579	11	590	1,180	355		583	938	1,180
	伊豆の国市	140	2	312	454	91		308	399	454
	函南町	37	1	105	143	27		105	132	143
	清水町	2		17	19			17	17	19
	長泉町	2		36	38	2		35	37	38
	小山町	47		78	125	11		72	83	125
	小計	1,035	14	1,572	2,621	625		1,536	2,161	2,621
富士	富士宮市	109	2	296	407	64		285	349	407
	富士市	53	2	174	229	32		155	187	229
	小計	162	4	470	636	96		440	536	636
静岡	静岡市	1,010	32	1,967	3,009	737		1,917	2,654	3,009
	小計	1,010	32	1,967	3,009	737		1,917	2,654	3,009
島田	島田市	234	42	540	816	148		527	675	816
	焼津市	29	1	60	90	17		57	74	90
	藤枝市	235	37	500	772	151		490	641	772
	牧之原市	41	5	420	466	24		418	442	466
	吉田町			12	12			11	11	12
	川根本町	55	10	195	260	34		193	227	259
	小計	594	95	1,727	2,416	374		1,696	2,070	2,415
袋井	磐田市	93		252	345	61		251	312	345
	掛川市	216	23	1,109	1,348	172		1,100	1,272	1,348
	袋井市	49		270	319	36		264	300	319
	御前崎市	16	1	351	368	14		349	363	368
	菊川市	83	4	610	697	71		606	677	697
	森町	79	18	431	528	55		422	477	528
小計	536	46	3,023	3,605	409		2,992	3,401	3,605	
浜松	浜松市	574	138	2,307	3,019	453		2,146	2,599	3,019
	湖西市	5		224	229	3		218	221	229
	小計	579	138	2,531	3,248	456		2,364	2,820	3,248
合計		5,034	347	12,869	18,250	3,461		12,369	15,830	18,239

■警戒区域ハザードマップ：土砂災害防止法8条3項に定められた、市町村が作成するハザードマップ

静岡県の土砂災害警戒区域等は、



でご覧になれます。

変に伴う区域の見直しを実施しています。
 を抽出し、公表しました。公表した候補箇所は令和7年度から本格的に基礎調査や区域
 災害(特別)警戒区域の周知(インターネットによる指定区域図の公表等)や土砂災害警

市町別ハード対策(土砂災害防止施設の整備)の実施状況

(令和8年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		採択可能 区域数	概 成 区域数	整備率 (%)	採択可能 区域数	概 成 区域数	整備率 (%)	採択可能 区域数	概 成 区域数	整備率 (%)	採択可能 区域数	概 成 区域数	整備率 (%)
下田	下田市	116	23	19.8%				193	35	18.1%	309	58	18.8%
	東伊豆町	24	8	33.3%	6	1	16.7%	44	7	15.9%	74	16	21.6%
	河津町	57	17	29.8%	6	3	50.0%	70	14	20.0%	133	34	25.6%
	南伊豆町	139	15	10.8%	1	1	100.0%	161	42	26.1%	301	58	19.3%
	松崎町	48	9	18.8%	1	1	100.0%	83	31	37.3%	132	41	31.1%
	西伊豆町	66	22	33.3%	1			88	20	22.7%	155	42	27.1%
	小 計	450	94	20.9%	15	6	40.0%	639	149	23.3%	1,104	249	22.6%
熱海	熱海市	97	21	21.6%	1			130	13	10.0%	228	34	14.9%
	伊東市	79	24	30.4%	2	1	50.0%	157	28	17.8%	238	53	22.3%
	小 計	176	45	25.6%	3	1	33.3%	287	41	14.3%	466	87	18.7%
沼津	沼津市	93	23	24.7%				174	75	43.1%	267	98	36.7%
	三島市	10	2	20.0%				51	17	33.3%	61	19	31.1%
	御殿場市	14	9	64.3%				5			19	9	47.4%
	裾野市	24	10	41.7%				35	6	17.1%	59	16	27.1%
	伊豆市	294	74	25.2%	11	2	18.2%	247	50	20.2%	552	126	22.8%
	伊豆の国市	61	9	14.8%	2	1	50.0%	150	37	24.7%	213	47	22.1%
	函南町	18	3	16.7%	1			54	4	7.4%	73	7	9.6%
	清水町	1	1	100.0%				13	1	7.7%	14	2	14.3%
	長泉町	1						15	3	20.0%	16	3	18.8%
	小山町	20	12	60.0%				43	24	55.8%	63	36	57.1%
小 計	536	143	26.7%	14	3	21.4%	787	217	27.6%	1,337	363	27.2%	
富士	富士宮市	58	21	36.2%	2			77	27	35.1%	137	48	35.0%
	富士市	34	14	41.2%	2	1	50.0%	69	33	47.8%	105	48	45.7%
	小 計	92	35	38.0%	4	1	25.0%	146	60	41.1%	242	96	39.7%
静岡	静岡市	583	163	28.0%	32	15	46.9%	851	340	40.0%	1,466	518	35.3%
	小 計	583	163	28.0%	32	15	46.9%	851	340	40.0%	1,466	518	35.3%
島田	島田市	151	33	21.9%	42	18	42.9%	171	78	45.6%	364	129	35.4%
	焼津市	16	8	50.0%	1	1	100.0%	29	21	72.4%	46	30	65.2%
	藤枝市	111	35	31.5%	37	14	37.8%	211	75	35.5%	359	124	34.5%
	牧之原市	32	14	43.8%	5	5	100.0%	62	25	40.3%	99	44	44.4%
	吉田町							3	3	100.0%	3	3	100.0%
	川根本町	36	9	25.0%	10	6	60.0%	51	19	37.3%	97	34	35.1%
	小 計	346	99	28.6%	95	44	46.3%	527	221	41.9%	968	364	37.6%
袋井	磐田市	37	4	10.8%				36	8	22.2%	73	12	16.4%
	掛川市	84	10	11.9%	23	10	43.5%	219	34	15.5%	326	54	16.6%
	袋井市	18	1	5.6%				47	13	27.7%	65	14	21.5%
	御前崎市	7			1			58	21	36.2%	66	21	31.8%
	菊川市	34	2	5.9%	4	3	75.0%	156	41	26.3%	194	46	23.7%
	森町	39	13	33.3%	18	7	38.9%	68	5	7.4%	125	25	20.0%
	小 計	219	30	13.7%	46	20	43.5%	584	122	20.9%	849	172	20.3%
浜松	浜松市	317	107	33.8%	138	73	52.9%	637	150	23.5%	1,092	330	30.2%
	湖西市	3						69	9	13.0%	72	9	12.5%
	小 計	320	107	33.4%	138	73	52.9%	706	159	22.5%	1,164	339	29.1%
合 計	2,722	716	26.3%	347	163	47.0%	4,527	1,309	28.9%	7,596	2,188	28.8%	

■土石流には直轄施行分を含む

■地すべりは農地・治山を含む

令和7年度

「土砂災害に関する絵画・作文」優秀作品の表彰

令和7年度に、土砂災害防止月間の取組の一環として「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集したところ、県内の小中学校から94点の応募があり、国と県の審査が行われました。

今年度は、静岡市立清水第六中学校の寺田龍矛さんの作文が国土交通事務次官賞に、小山町立明倫小学校の岩田東也さんの作文が静岡県知事賞に、静岡市立安東小学校の脇玲美奈さんの絵画が交通基盤部長賞に選ばれました。また下の表のとおり、全国治水砂防協会静岡県支部長賞4点の計7点が受賞されました。

3月25日(水)に県庁で行われた表彰式では、御家族の方々が見守る中、静岡県交通基盤部長より、受賞者の皆さんに表彰状が授与されました。



受賞者の皆様の集合写真（脇 玲美奈さんは欠席）



国土交通事務次官賞を受賞した寺田龍矛さん



静岡県知事賞を受賞した岩田東也さん

賞	部門	学年	受賞者名	学校
国土交通事務次官賞	中学生作文	1	寺田 龍矛 <small>てらだ たつむ</small>	静岡市立清水第六中学校
静岡県知事賞	小学生作文	4	岩田 東也 <small>いわた とうや</small>	小山町立明倫小学校
静岡県交通基盤部長賞	小学生絵画	5	脇 玲美奈 <small>わき れみな</small>	静岡市立安東小学校
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	中学生絵画	3	木田 華暖 <small>きだ かのん</small>	伊豆の国市立葎山中学校
	中学生作文	2	山田 美蘭 <small>やまだ みらん</small>	富士市立富士中学校
	小学生絵画	6	水谷 蒼二郎 <small>みずたに そうじろう</small>	湖西市立東小学校
	小学生絵画	3	添田 謙二郎 <small>そえだ けんじろう</small>	下田市立浜崎小学校

(敬称略)

国土交通事務次官賞

「見てない所で土砂災害防止」

静岡市立清水第六中学校 1年

てらだ

たつむ

寺田 龍矛 さん

ぼくの母が働いている会社は建設業で、特に災害防止や災害後の復旧工事が中心の会社です。その中でも法面と呼ばれる斜面の保護工事が主な仕事です。法面とは、山や道の道路の横にある斜面のことで、大雨などで崩れないようにとても大切なことでコンクリートや植生を使って土が流れないようにすることで土砂災害を防ぐことができます。最近では、日本各地で大雨や台風による土砂災害が増えています。テレビのニュースでも、崖崩れや道路が途中で切れて通れなくなったり、住宅地への土砂流入の映像を見たりすることが多くなりました。気候変動の影響か、短時間に大量の雨が降る「線状降水帯」が発生することもあり、予測が難しくなっています。このような災害が増えているため、母への工事の依頼も増え、多忙な日々が続いてるそうです。災害の復旧工事だけでなく、災害を未然に防ぐための予防工事の必要性も高まっているのです。

ぼくは、母から仕事の内容や大変さをよく聞きます。崩れそうな斜面に入って作業することは危険ですが、地域の人達の安全を守るためにとても大切な仕事だと母は言います。例えば、土の斜面に植物を植えて根で固定したり、金網やコンクリートで覆ったりと、場所によってさまざまな方法があります。地形や土の質、水の流れを考慮して最も効果的な方法を選ぶ必要があり、専門的な知識や経験が求められるようです。

ぼくたちの暮らしは、自然の影響を大きく受けています。特に山や川の近くに住んでいる人達は、常に土砂災害の危険と隣り合わせ

です。もし大雨が降って土砂が崩れてしまったら、多くの被害がでてしまい、たくさんの命が奪われてしまう可能性があります。だからこそ災害を防ぐための備えが必要なのです。

さて土砂災害を防ぐには、どのようなことに気をつければよいのでしょうか。土砂災害防止のためには、工事だけでなく、日頃からの意識もとても大切になってきます。例えば、自治体が発表しているハザードマップを見て、危険な場所を確認し、いざというときすぐに逃げられるようにしたり、避難経路を家族と話し合うのもとても重要なことです。また、地域の防災訓練に参加したり、雨の日には、早めに避難をするかどうか、すばやく判断したりすることを身につける必要があります。

ぼくは今回改めて仕事のことについて聞いて思ったことが二つあります。

一つめは、工事はとても危険ということです。なぜかという法面の工事で崩れそうな斜面に自ら入っていき工事をするからです。

二つめは、工事をしてくれる方々の強い思いです。

ぼくはこのような仕事は、怖くてできません。だから、こういう仕事は、みんなが安心安全にすごしてほしいという強い気持ちがないとできないと思います。ぼくは、このような仕事をしている母や会社の人達は、とても凄いなと、ぼくは、思います。これからは自分も、災害から身を守るための知識をしっかりと身につけ、もしもの時の為に備えようと思います。

静岡県知事賞

「自分の命は、自分で守る」

小山町立明倫小学校 4年

いわた

とうや

岩田 東也 さん

ぼくは、これまで土砂災害やけいほうが鳴るほどの雨や台風をあまり経験したことがありません。でも、七夕豪雨や狩野川台風のことを知ってから、台風へのけいほうをするようになりました。

授業で習ったことの一つに、明倫小学校のひなん場所の変化があります。何十年か前は体育館がひなん場所でしたが、今は校舎になっています。なぜ変わったのかというと、体育館の裏には鮎沢川があり、もし裏の斜面が土砂くずれになったら、体育館の地面がくずれてしまう危険があるからです。そのため、体育館は「土砂災害けいほう区域」に指定され、ひなん場所が校舎に変えられました。

もう一つは、ジュニア防災士の方々による説明で学びました。土砂災害のひなんのタイミングや、必要な食料の量などを、わかりやすく教えてくれました。

その中で、役に立つことをいくつか紹介します。

一つめは、家族分の食料は、七日分があると安心です。

二つめは、夜中にひなんけいほうが鳴ったら、明るくなるまで待つ方が安全です。

三つめは、雨が少し弱くなくても、川には近づかないようにしましょう。

そして、ぼくたちができることは、もし地震や台風、大雨でひなんすることになったら、明倫小学校の生徒として、みんなの手助けを

することです。災害が起きた時には、「自助」と「共助」をしっかりと行動にうつしたいです。

明倫小学校には、視聴覚室、音楽じゅんび室、体育館に水・食料・発電機があります。これを知っているのは、生徒と先生だけなので、ひなんしてきた人たちのために、ぼくたちが助けたいと思います。

ぼくが土砂災害の動画を見たとき、最初は雨が強くて、少し時間が経つと、木や土を飲み込むほどの大きな洪水になっていました。実際に起きたらとても怖いので、来ても大丈夫なように対策をおきたいと思いました。ぼくの住んでいる地域は、裏に山があるので、ひなんけいほうが出たらすぐにじゅんびして、明倫小学校に急いでひなんし、「自助・共助」をしっかりと実行したいです。

ひなんをするときは、ハザードマップを確認して、安全な道を通って学校に向かいたいです。もし食べ物を持っていない人がいたら、少し分けてあげたいと思います。

本当にひなんすることになったら、授業で習ったことをしっかりと活かして行動したいです。ジュニア防災士の方から教わったことも、しっかりと頭に入れておきたいです。

家にある非常食や水がちゃんとあるかを確認して、災害があっても命を守れるようにじゅんびしておきたいと思いました。

静岡県
交通基盤部長賞

静岡市立
安東小学校 5年
脇 玲美奈 さん



全国治水砂防協会
静岡県支部長賞

伊豆の国市
立葦山中学校 3年
木田 華暖 さん



全国治水砂防協会
静岡県支部長賞



下田市立浜崎小学校 3年
添田 謙二郎 さん



湖西市立東小学校 6年
水谷 蒼二郎 さん

全国治水砂防協会 静岡県支部長賞

「土砂災害から命を守るために」

六月は土砂災害防止月間ということになっています。梅雨や日本に接近・上陸し、被害をもたらす台風が発生し始めるこの時期にみんなに共有し、いざという時にすぐに避難行動が取れるようにと様々なイベントや訓練で啓発・共有の活動を行っているといいます。私は富士市に住んでいますが、広報ふじ六月号の「土砂災害に備えましょう」や県民だより六月号の「土砂災害防止月間」の特集記事を読んで自分の知らないことがいろいろと書かれていました。これまではあまり興味を持たなかった分野ではあるけれど、静岡県でも熱海での土石流災害があり、昨年の石川県での豪雨の際、女子中学生が亡くなる痛ましい災害は私にとって衝撃的でした。今回初めて土砂災害に関することについて学んでみたいと思います。

令和六年には全国で千四百件を超える土砂災害が発生しました。その内静岡県では八十六件発生し、全国で二番目に多い発生件数であったそうです。土砂災害は山や崖だけでなく、緩やかな斜面や川の近くでも発生する危険があり、「うちは大丈夫」と油断することなく日頃から意識をしなければならぬとあるけれど、今まで私は「油断をした」というよりも土砂災害について私の中で全く意識がなかったというのが実際でした。テレビで大雨により家が流されたり、土砂で家や道路が埋まったニュースを見て大変だ、被害にあった人は大丈夫かなとどこか遠くで起きている出来事としてしか見てこなかったと改めて思いました。

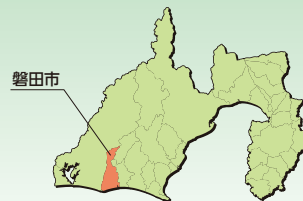
富士市の広報誌「広報ふじ」には、主に避難に関することや様々な情報を入手する手段についての説明がありました。一つ目は、避難情報と防災気象情報をレベルごとに解説し、それに合わせて危険区域の住民が取るべき行動について、解説をされていました。防災気象情報とは大雨警報、洪水警報や土砂災害警戒情報などであるが、これ

富士市立富士中学校 2年 山田 美蘭 さん

は大雨の時などにテレビの速報やテロップで流れてくる見覚えのある情報です。避難情報についても「避難指示」などの言葉は何となく聞いたことがあります。避難情報と防災気象情報の2つを警戒レベルで合わせた表が掲載されており、避難情報は警戒レベルに応じて、市が発令するものであることが分かりました。例えば、土砂災害警戒情報が発表された時には警戒レベルは四となり、避難指示が発令されます。二つ目は、富士市の防災マップや同報無線情報をメール配信してくれるサービス、サイボスレーダーという雨量と川の水位情報や川の監視カメラの映像を見ることができるサイトなどのQRコードが掲載されていました。それぞれスマホでページを見ると、初めて見るサイトばかりでしたが、大雨の時に役立つ情報が手に入ると思いました。富士市の防災アプリ「防災ふじ」の紹介もありました。富士市の防災情報がまとめて分かるアプリで自分だけのオリジナル避難計画(マイタイムライン)の作成ができたり、災害時には避難所の開設状況も確認できる便利なアプリです。災害の時には、何が起るか分からないので、複数の手段を使って情報を入手できるようにしておくことが大事だと思いました。

今回六月の土砂災害防止月間の特集記事から色々なことを知ることができました。でも大事なことは行動に移すことだと思います。最近のカムチャツカ半島の地震による津波警報が日本の太平洋沿岸に発令されました。それをニュースで見た時、東北の人達はみんなしっかりと高台に避難をしていました。津波の怖さを良くわかっていて、自分事として行動していると感じました。

土砂災害の避難は、家の中で一階の部屋から二階の部屋に避難をすることも「垂直避難」と呼ばれ、避難行動の一つであるとのこと。これからは私も大雨の時には、自分の出来ることから行動に移していきたいです。



磐田市

磐田市は、静岡県西部の一級河川天竜川の左岸側の河口に位置し、南は遠州灘に面しています。北部は敷地川、一雲済川などの流域と山地で丘陵と段丘に移行し、その南は天竜川扇状地の低地、磐田原台地、太田川の三角州低地と続き、南部では天竜川左岸低地、太田川、ほう僧川の三角州性低地及び海岸砂堆地からなります。また、ヤマハ発動機株式会社をはじめとする輸送用機器製造業を中心に、農産物では温室メロンや海老芋、白ネギが県内屈指の出荷量を誇るほか、次世代農業施設や陸上養殖施設など、新たな産業の誘致をしています。磐田駅にある県の天然記念物にも指定されている樹齢700年、樹高18mの「大クス」も磐田の象徴となっています。



磐田駅前 大クス

奈良時代には遠江国分寺や遠江国府が置かれ、古墳時代の多くの遺跡や古墳が現存するなど、歴史が薫るまちです。

また、明治から昭和にかけて土木技術者として日本人で唯一パナマ運河建設に携わった青山士は磐田市出身です。

「スポーツのまち」としてJリーグ「ジュビロ磐田」、ラグビー「静岡ブルーレヴズ」の活動拠点で、磐田市の小学生が、ジュビロ磐田や静岡ブルーレヴズの試合を観戦するなどの交流も行われています。

防災面では令和4年台風15号の浸水、土砂災害被害を受けて「いわた流域治水共創プロジェクト」を策定し、ハード・ソフト対策を一体とした多層的な減災対策を推進しています。JR駅周辺は、道路交通網の形成、グリーンインフラの活用など、都市基盤の充実を進めており、20年、30年後を見据えた「安心できるまち」、「魅力ある磐田」の実現を目指しています。



ジュビロ磐田 小学生一斉観戦

歴史探訪

海岸砂防

国内の沿岸部では、古くから波浪や強風による飛砂等から耕地や集落を守るため、砂防林(防砂林)の整備が進められてきました。静岡県内においても、遠州灘海岸は冬の季節風による飛砂対策として、中世から砂防林が造成されてきたことが文献にも残されています。

昭和8年に、県では、これまで行っていた河川上流部における砂防事業に加え、海岸からの飛砂によって河口が塞がれるのを防ぐため、菊川河口ではじめて海岸砂防事業に着手しました。この事業は戦時中に一時中断しましたが、昭和30年度まで、中田島砂丘をはじめ天竜川から御前崎に至る砂丘地帯等で、飛砂防止柵の設置やクロマツやマサキ等の植樹等を行いました。

沿岸部における砂防事業は、昭和26年に森林法が制定され保安林制度が規定されて以降、治山事業による防災林整備へと引き継がれていきました。



菊川河口の海岸飛砂防止対策(昭和12年)



馬込川河口の海岸飛砂防止対策(昭和11年)

● 由比地区地すべり等を巡る「さわやかウォーキング」が開催される ●

1月18日(日)に、JR東海が主催するさわやかウォーキングが開催され、県内外から2,148名と多くの皆様が旧東海道の興津宿から「さった峠」、由比宿までを巡りました。

東名高速道路と国道1号、東海道本線が集中し、交通の要衝である「さった峠」では、駿河湾と富士山が望め、早咲きの桜も咲いており、多くの皆さんが記念写真を撮影されていました。

由比宿では、「由比地区」の地すべり災害の歴史や国と県で進める対策を展示する「由比地すべり管理センター」に立ち寄っていただきました。「由比地区」では現在、国土交通省富士砂防事務所が日本の重要交通網を守る「由比地区直轄地すべり対策事業」を進めており、「砂防カード」やクリアファイル等のグッズを記念に配布しました。



由比地すべり管理センター



由比地区のジオラマ

● 「土砂災害に関する防災教育」が県広報グランプリ銀賞を受賞 ●

県では、職員の広報技術の向上及び広報力の強化を図るため、「静岡県県庁広報グランプリ」を毎年開催しており、各所属の広報に関する改革成果や戦略的な広報を専門家等が審査し、優れた取組を表彰しています。

県砂防課では、土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設に義務付けられている避難訓練の実施率の向上を図るため、教育委員会と連携して、対象の小中学校(134校)にこれらの説明とともに、児童・生徒の防災知識向上を図る出前講座の希望を募り、これまで57校で出前講座を開催しました。避難訓練と組み合わせた講座や模型による学習、フィールドワークで学校周辺の危険な場所を知る等、この出前講座における一連の取り組みが評価され、広報グランプリで銀賞を受賞しました。



避難訓練を組み合わせた例(富士宮市)



模型を使った講習の例(下田市)



フィールドワークの例(熱海市)

● 静岡県砂防ボランティア協会の総会及び研修会を開催しました ●

1月28日(水)に、「令和7年度(第30回)静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会」を静岡市産学交流センター(静岡市葵区)で開催し、会員31名が出席しました。

総会では、会員の急傾斜地パトロールや小中学校等への出前講座等への参加、北沢会長の全国連絡協議会等への出席報告など令和7年度の活動報告と令和8年度の活動予定の確認等を行いました。

また、総会後には研修会を開催し、(一財)砂防ボランティア整備推進機構の蒲原上席研究員による砂防ボランティア活動の最近の状況、静岡大学今泉教授による能登半島地震により形成された河道閉塞に関する講演を受講し、今後の活動に役立つ最新の情報や知見を得ることができ、大変有意義な研修会となりました。



蒲原上席研究員の講演



今泉教授の講演



集合写真

第12回由比地すべり対策検討委員会が開催される

2月3日(火)に、「第12回由比地すべり対策検討委員会」が静岡市内で開催され、有識者や国の研究機関、県や市の関係職員等が出席しました。

本委員会は、日本の重要交通網が集中する「由比地区」で国土交通省富士砂防事務所が行っている地すべり対策について、地すべりの発生メカニズムや対策方針等を検討するものです。

今回の委員会では、富士砂防事務所から前回の委員会での指摘への対応や現在の対策事業の実施状況と今後の計画等について報告がありました。委員からは、これまでの対策による効果を整理し、次回の委員会で報告するよう意見がありました。



検討委員会の様子

令和7年度大久保沢地すべり対策委員会を開催しました

2月9日(月)に、「令和7年度大久保沢地すべり対策委員会」を県静岡総合庁舎(静岡市駿河区)で開催し、静岡大学の今泉教授、森林総合研究所の岡田山地災害研究室長と県の砂防・治山の関係職員が出席しました。

この委員会は、令和5年8月22日に静岡市葵区諸子沢地区の大久保沢上流部で発生した大規模な林野地すべりについて、発生メカニズムの分析や対策方針等を検討するものです。今回の委員会では、これまでの対策工事の状況や、観測・調査の結果をもとに、委員の皆様からの御意見をいただき、地すべりのメカニズムの分析や今後の調査や対策工事等の進め方をまとめました。



対策委員会の様子

第66回砂防および地すべり防止講習会が開催される

(本県の元砂防課長の松本比呂志氏が赤木顕功賞を受賞)

2月17日(火)～18日(水)に、「第66回砂防および地すべり防止講習会」が砂防会館(東京都)で開催されました。

講習会に先立ち、砂防行政の発展及び砂防技術の向上に多大な功績があった方々に贈られる赤木各賞の授与式が行われ、本県の元砂防課長の松本比呂志氏が赤木顕功賞が授与されました。

また、講習会では、赤木賞を受賞された北海道大学名誉教授山田孝氏による「広域複合災害の特徴と減災の考え方」の特別公演をはじめ、國友砂防部長の「今後の土砂災害対策の方向性」、鹿児島県土木部砂防課課長の「令和7年新燃岳の噴火活動に起因する土砂災害への対応について」、高知県土木部防災砂防課課長の「高知県版「ダイナミックSABOプロジェクト」のコンセプト」など砂防に関する幅広い講演がありました。



赤木顕功賞受賞 松本比呂志氏



講習会の様子

第8回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画推進連絡会議を開催しました

3月18日(水)に、「第8回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画推進連絡会議」を伊東市役所で開催し、国土交通省沼津河川国道事務所、県、関係市町等の担当者が出席しました。

会議では、噴火による降灰のおそれがある溪流の緊急減災対策ドリルの作成状況等に関する報告に加え、令和8年度も引き続き、緊急減災対策砂防計画に基づく実践的な訓練や勉強会を連携して実施することとしました。

火山活動が生じた際に迅速にソフト・ハード一体となった対策により被害を軽減できるよう、今後も関係機関の連携強化を図っていきます。



連絡会議の様子

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝える、絵画・作文を募集します。募集要項については、各小中学校へ送付しますが、下記でもご覧いただけます。

- 【募集対象】 小中学生 【応募期間】 6月1日(月)～9月15日(火)
 【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記してください。
 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
 静岡県交通基盤部砂防課 砂防班
 TEL.(054)221-3044 FAX.(054)221-3564



詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/1076945/index.html>

出前講座・土砂災害防止講習会の開催募集

土砂災害に関する出前講座・講習会を開催しませんか? 県の砂防課や土木事務所の職員が講師として説明に伺います。お気軽にお問合せください。

- 【出前講座の対象】 小学生～高校生
 【講習会の対象】 どなたでも
 【開催日時】 相談ください

問合せ

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課
 TEL(054)221-3044
 E-mail sabo@pref.shizuoka.lg.jp



土木事務所企画班砂防担当者の紹介

県砂防課では、出前講座および講習会を随時受付けております。

事務所	企画TEL・FAX	担当者
下田土木	TEL:(0558)24-2113 FAX:(0558)24-2123	中島雄一郎
熱海土木	TEL:(0557)82-9172 FAX:(0557)82-9110	鈴木 悟 木下 紘輔 吉田 圭佑
沼津土木	TEL:(055)920-2212 FAX:(055)922-6684	清 憲三 今村 祐華 江塚 悠吾
富士土木	TEL:(0545)65-2794 FAX:(0545)65-2270	加藤 喬平

事務所	企画TEL・FAX	担当者
静岡土木	TEL:(054)286-9322 FAX:(054)286-9375	小田 匠 池田 薫 久保田 将生
島田土木	TEL:(0547)37-5272 FAX:(0547)37-6183	小沼 佳記
袋井土木	TEL:(0538)42-3216 FAX:(0538)42-1782	吉澤 光祐 相場 啓嗣
浜松土木	TEL:(053)458-7266 FAX:(053)458-7193	村松 晴美 荒川 泰穂



【表紙写真】
花びらの輪舞曲
 (撮影地:岩本山公園)
 写真提供:富士市
 (第15回富士山百景写真コンテスト)
 ※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

平素より格別の御支援、御高配を賜り、心より御礼申し上げます。
 新年度を迎え、街にも心にも新しい風を感じる4月となりました。桜の便りとともに、環境や立場に変化のあった方も多くいらっしゃるかと存じます。
 昨年度末、「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰式が執り行われました。どの作品も、土砂災害の恐ろしさや、その防止について改めて考えさせられる、素晴らしい内容でした。御応募いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。本年も、より多くの皆様からの御応募をお待ちしております。
 本誌が、これまでの御縁を大切にしながら、土砂災害への理解や地域での防災対策の一助となり、今後の歩みを共有する契機となれば幸いです。
 本年度も変わらぬ御厚誼を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。
 全国治水砂防協会静岡支部 吉澤 舞里子

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。
<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/1076945/index.html>



第219号 発行日: 令和8年4月15日
 編集・発行: 全国治水砂防協会静岡支部
 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
 TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sbkk_s@yahoo.co.jp

